

間欠式バルーンカテーテル自助具 取扱説明書

注意事項

1. 間欠式バルーンカテーテル（株式会社ディヴインターナショナル製）を用いて自己導尿を行っている方を対象としています。
2. 落下した場合破損する場合があります。落下防止のため、首から掲げてご使用ください。
※本製品は、ご利用後のキズや破損につきましては修理や交換はしていません。
お取り扱いにはご注意ください。
3. 間欠式バルーンカテーテル（株式会社ディヴインターナショナル製）には2種類のリザーバーが販売されています。本製品はリザーバー（大）のための自助具です。（2020年3月現在）
※バルーンカテーテルについてのお問合せは、泌尿器科の医師、もしくは、株式会社ディヴインターナショナルの担当者までご確認ください。

使用方法（挿入）

1. リザーバー（大）に滅菌水を満タンまで注入し、カテーテル本体に取り付けてください。
2. 間欠式バルーンカテーテルを手順に従って膀胱内に挿入してください。
3. 間欠式バルーンカテーテルが膀胱内に確実に挿入されたことを確認後、リザーバーとクランプをセットします。（図1参照）。
4. 蓋をゆっくり押して、リザーバーの滅菌水をカテーテルに注入します。
5. 滅菌水が約5ml注入するまで押すと、「カチッ」と音がしてクランプが閉じます。（図2参照）
6. クランプが閉じていることを確認後、リザーバーをクランプを外します。

使用方法（抜去）

1. 閉じたクランプを本体と蓋の間に挟み、蓋を押してクランプを開放します（図3参照）。
2. 滅菌水がリザーバーに戻ったことを確認後、間欠式バルーンカテーテルを手順に従って抜去します。



図1 リザーバーとクランプの挿入

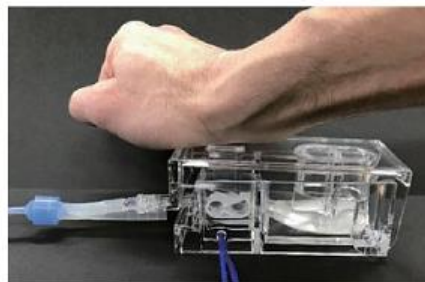


図2 ふたの押し込み



図3 クランプの開放